

かんわだより

1. エンゼルケアについて

第22回、23回の緩和ケアセミナーにおいて、山口県エンゼルケア研究会の塩瀬栄子先生にエンゼルケアについて講演して頂きました。第22回のセミナーでエンゼルメイク・ケアの意義や大切さ、実際にケアを行う際の注意点などについての講演を、第23回のセミナーでエンゼルメイクの実演して頂きました。とても丁寧に教えて頂き、日常の業務に活かせる講演だったと思います。なお、セミナーの際に行ったアンケートの内容を別紙に掲載するのでご参照ください。

エンゼルメイクとは

生前の面影を可能な範囲で取り戻すための顔の造作を整える作業や保整を含んだ“ケアの一環としての死化粧”。

エンゼルケアとは

従来の死亡確認後の一切のケアにエンゼルメイク、グリーフケアおよび死後の身体部分の整えまでを含む広い意味でのケア。

Memo

- ・患者の病状・経過、合併症、死亡時の状況、死後の状況により適したケアは異なる。
- ・綿詰め行為は基本的には必要なし。
- ・拘束行為は一切禁止。
- ・手を組む、顔を白い布で隠す、死装束は風習であり、特別な意味はないため行わない。
- ・家族や近親者にケアに参加してもらうことにより、よりその人らしい容姿となり、また、家族・近親者のグリーフケアにもなる。

2. TOPICS

- ①9月に行われた第4回日本緩和医療薬学会年会に参加しました。化学療法とその周辺（副作用対策など）の講演が主でありましたが、既存薬の新しい作用機序の発見に関する講演などもあり、最新的话题を多く学ぶことができました。
- ②10月に行われた第33回山口県緩和ケア研究会に参加しました。特別講演では「在宅緩和ケアの現状とこれから」という題で、病院と在宅双方向への移行に関して必要なこと、連携、問題点などについて講演されました。色々やらなければならないことが多く、現時点では難しい問題だなというのが正直な感想でした。

第23回緩和ケアセミナー アンケートの内容

1. 質問と回答

Q1)メイクの道具がないと難しいと思う。

化粧品は家族にもってきてもらおうと言われたが、現状はなかなかそろわないのでエンゼルケア用に病院は一式そろえる必要があるのではないか？

メイク用品は個人に用意して使用するのでしょうか？それともずっと使用するのでしょうか？

A1)メイク道具は、今後ディスプレイ式で一人一回のみの使い捨ての物が導入される予定です。

Q2)今回使用されたパレットはエンゼルメイク専用のものなのか？

A2)エンゼルメイク専用のものです。

Q3)母が病院で亡くなったが、病院ではメイクは施行されなかった。現在は病院で施行されているのか？苦しんで亡くなった場合、顔の表情はどの時点で安らかな顔になるのか？

A3)平成21年末頃より、3階病棟では亡くなられた患者様全員に対し、足浴・手浴・洗髪・エンゼルメイクを行っています。現在、病棟によって、また、病院によって施行されているかはまちまちですが、当院では、今後全病棟でケアを実施して頂きたいと考えています。

苦しんで亡くなった場合、クレンジングを行う時にマッサージを行うことで表情が穏やかになります。マッサージは顔の皮膚が動かない程度の強さで行い、マッサージの指は最後まで肌から離さないのがコツです。

Q4)基礎化粧（下地クリームなど）する必要があるのですか？

A4)化粧を患者様の肌色と同じようにするため必要です。

Q5)出血傾向のある人や血液疾患の患者は顔に内出血や点状出血がある人が多い。その時には、どういう風にメイクすると良いのか？

A5)黄色系のクリームファンデーションを塗ります。これは、赤、茶、黒などのダークな色の点として存在しているシミや斑の部分の地肌の色に近づける役割を果たします。



Q6)以前の研修で温かいタオルは使用しない（皮脂を奪うので）と言われたが？

A6)ホットパックは皮脂の汚れを除去するのに最適です。是非行ってください。もし肌の乾燥が気になる場合、クレンジングを落とす際、しっかりと落とさず、少し残すつもりで行うと皮脂の代わりとなり、良いと思います。



Q7)ケアに大体どの位時間がかかるか？

A7)最初はケアに 1 時間程度かかりましたが、慣れてくると 30 分から 45 分程度で行えるようになりました。時間はかかりますが、家族も一緒にケアしてもらうようにすれば看護師は 1 人でも良く、ケアに関わる人員を減らすことができます。と思います。

Q8)入れ歯が合わない場合、家族が入れ歯をして欲しいと言われた時どうしたら良いか？

A8)どうしても入れ歯が入らない場合、エンゼルデンチャーという器具が市販されていますが、当院では導入されていません。

入れ歯を入れる方法として、

- ・口角を横に広げる。この時やや口を閉じ気味にすると広げやすい。
- ・上側の入れ歯を先に挿入する。
- ・るい瘦が激しい場合、無理に入れ歯を装着すると入れ歯の部分だけが盛り上がり、不自然な表情になる。全体のバランスをみて装着するか否かを判断し、装着しない場合は状況に応じて含み綿をする。
- ・入れ歯が装着できても安定しない場合、市販の歯接着剤を使用する。
- ・開口できない場合、無理やり開口して入れ歯を挿入すると口元を傷つけてしまう可能性がある。無理に入れ歯を挿入しようとせず、うまく口腔ケアをし、出来るだけ自然な状態に口唇を合わせる。

などの方法がありますが、どうしても難しい時は葬儀社の方をお願いし、再弛緩のタイミングで装着してもらうことも出来るようです。3階病棟では、入れ歯が入らない場合は家族に事情を説明し、出来るだけ口を開けないことで対応しています。



Q9)生前その人らしくが基本だと思うが、入院中は化粧をしないので御家族に協力して頂くか写真を見せてもらったりするといいいのですが？

A9)生前の元気な時の顔は家族にしかわかりません。そのため、家族にケアに入って頂いて、家族と相談しながらケアしていくことにより、患者様らしい顔で退院でき、また、家族のグリーフケアにもつながると思います。

Q10)生前にお見送りの服を家族に聞く場合、どういう風に聞いたら良いのか？

A10)家族との信頼関係や話すタイミングなどが重要となり、生前に伝えるのは大変なことだと思います。家族が患者様の死をしっかり受け入れている場合は、受け入れができていの方にタイミングを見計らって声をかけると良いと思います。

3階病棟では、患者様が亡くなられた後、ケアをしている間に家族の方に服を取りに帰ってもらったりして、患者様の好みの服を着て退院して頂いています。

Q11)突然の事故などで家族の死に触れた時など、家族の関わり方について今回の研修のようにはいかないのではないかと？

A11)突発的な大きな悲しみに動揺し、受容が進まないのは家族として当然のことなのですが、このような状況の時にこそ、エンゼルケアが力を発揮します。ぜひ、積極的に取り組んでみて下さい。

2. その他

・研修で教えて頂いたことを実践できればと思いますが、エンゼルケアに十分時間をかけて実施ができるよう体制を整えることが大切だと思う。

・以前より美しい顔になった方が多いと思う。

・死亡するまでにしっかり本人と家族にコミュニケーションが取れている場合は家族のみにしてもらうことはどうだろうか？

・クリームをたっぷり塗っているから良いと思った。

・実技を学びたい。

・外傷や絞首の処置を知りたい。



(アンケートにご協力頂き、ありがとうございました。)